ご使用の前にこの取扱説明書に記載されている使用方法、注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。誤った使用の場合、資産損失・損傷、使用者本人および周囲の方々が死に至る事故の原因となる恐れがあります。

⚠危険! 取扱を誤った場合、人が死亡または重傷を負う、差し迫った危険が発生する可能性があります。

一酸化炭素の危険性

■本製品は風通しのよい屋外で使用してください。テント内、車内、室内など、換気ができない場所では絶対に使用しないでください。燃焼によって一酸化炭素が排出され、一酸化炭素の吸入により死亡または脳障害を引き起こす可能性があります。

爆発・火災の危険性

■本製品は、木材や松かさ等を燃焼するように設計されています。液体、ジェル、プラスチックやその他の燃焼促進剤は絶対にストーブに入れないでください。

■使用中は非常に高温になり、炎の近くに可燃物があると引火する可能性があります。可燃物は、製品から横に半径50㎝以上、上に120㎝以上離してください。

■本製品はガソリンやその他の可燃性の液体や可燃性ガスから遠く離れた場所でご使用ください。また燃焼室内にヤニが溜まったり、ヤニに引火したりしないように使用後は毎回ストーブをきれいに洗ってください。

■ストーブを使用している間は絶対に離れないでください。

■セラミック製品や鉄板、フライパン、金網などをストーブの上に載せないでください。パワーモジュールが加熱され変形・爆発の恐れがあります。

やけどの危険性

■ストーブの使用中または使用直後は金属の表面が高温になり、触れるとやけどの恐れがあります。ストーブを移動させる場合は、プラスチック製のパワーモジュールを持ってください。

■炎が大きくなることがありますので、ストーブを使用している間は絶対に側を離れないようにしてください。また、使用中は極力ストーブを動かさないでください。

■風向きが変わって炎がパワーモジュールにかかる場合は、火力を落としてからパワーモジュールの下部を持ち、細心の注意を払ってストーブの向きを変えてください。

■子供の手の届かないところで使用・保管してください。

■必ず水平で安定する場所で使用してください。また、不安定な設置状態では使用しないでください。

充電池の危険性

■パワーモジュールの中の充電池は、誤った使用や保管により火災、膨張、爆発、液漏れ、化学火傷の危険があります。これらの危険を防ぐために、充電池が腐食しないようパワーモジュールは水中に入れないよう注意してください。

■パワーモジュールの中の充電池は、他の熱源から十分に離してください。また、強い衝撃、圧力、振動等にさらさないでください。

■パワーモジュールの分解・改造・充電池交換は行わないでください。充電池を充電できない場合は、販売店もしくは当社へお問い合わせください。

異常が見られた場合は使用を中止してください

■異臭、発熱、変色、変形などの異常が見られた場合は直ちに使用を中止してください。故障、破裂、発火、火災などの原因となる場合があります。

接続用ケーブルを踏みつけたり痛めたりしないでください

■接続用ケーブルが痛んだ場合は使用をおやめください。感電、発熱、火災の原因となる場合があります。

⚠警告! 取扱を誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

■ご使用前に可燃物や熱による影響を受けやすいものが周囲にないことを確認してください。また、乾いた草の上など延焼の危険がある場所では使用しないでください。

■強風下では使用しないでください。また、使用中に風が強くなった場合は直ちに消火し、使用を中止してください。

■使用中や使用後は本体が非常に高温になるので注意してください。また、周囲の状況に注意し、お子様が近づかないようにしてください。

⚠注意! 取扱を誤った場合、人が重傷を負う、または物的損害の可能性があります。

■本体を収納する際は十分に温度が下がっていることを確認して収納してください。また、緊急時以外は本体に水をかけたりしないでください。急激に温度が変化し、本体の破損・変形の原因になります。

■設置時や収納時は必ず両手で行ってください。乱暴な取り扱いはケガや本体の破損の原因となります。

■使用により変色や歪みが発生することがありますが使用に支障はありません。

■本体にサビが発生することがありますが使用に支障はありません。

■本製品は防水仕様ではありません。

■本製品は飛行機内へ持ち込みできない場合がありますので、事前に航空会社にご確認ください。

□公園や河川敷などの公用地やキャンプ場などの管理地で使用する場合は各自治体や管理者に確認して使用してください。

□焚火や火気類の使用が禁止されている場所では絶対に使用しないでください。

メンテナンス（洗浄方法）

■パワーモジュール

ストーブからパワーモジュールを取り外して、石鹸と水で湿らせて硬くしぼった布でふき取ってください。パワーモジュールを水にいれたり、過度に水分を持たせたりしないでください。

■ストーブ

灰を取り除き、必要に応じてナイロンブラシなどでこすり洗いしてください。燃焼室の上部にある鍋を支えるゴトクは、石鹸と水で湿らせて硬くしぼった布でふき取り、十分に乾かしてください。ストーブは食器洗浄機でも洗うことができます。洗った後は完全に乾燥させてください。

保管

■本製品は風通しのよい、涼しく乾燥した場所で保管してください。

■高温になる場所には保管しないでください。

■子供の手の届かないところに保管してください。

■本製品を6か月以上使用せずに保管した場合は、使用する前に充電池を再充電する必要があります。【1.初めてご使用になる前に】を参照し、充電池を充電してください。

仕　様

●材質：ストーブ / ステンレス
●本体重量：947g（収納袋、付属ケーブル、ファイヤースターター、ポットアダプターを除く）
●収納寸法：ストーブ / 直径 127mm× 高さ 210mm
●火力：3.4kW（低回転）、5.5kW（高回転）
●USB 出力：2W@5V（連続出力）、4W@5V（ピーク時出力）
●内蔵電池：650mAh（3.7V）リチウムイオン電池
●耐荷重：容量 3.7ℓもしくは重量 3.6kg
●付属品：付属ケーブル（パワーモジュール充電用 USB）、ポットアダプター
収納袋、ファイヤースターター（着火材）
※携帯電話・スマートフォンなどの充電用ケーブルは付属していませんので別途ご用意ください。

株式会社モンベル　本　社　〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで
Tel. 06-6531-3544　フリーコール：0088-22-0031
モンベルホームページ　http://www.montbell.jp

07-239-1305

トラブルシューティング（困ったときは）

トラブル内容:燃焼中に充電できない（USB表示ライトがオレンジ色の点灯）

原因1:燃焼が不十分
（解決法）燃料を追加してください。
原因2:充電池が充電されていない。
（解決法）充電池が充電されるように燃料を追加してください。

トラブル内容:燃焼中に充電できない（USB表示ライトがグリーン色の点灯）

原因1:USBケーブルが接続されていない。
（解決法）USBケーブルの接続を確認してください。USBケーブルの両端をUSBポートから抜き、もう一度さし直してください。
原因2:その他の原因
（解決法）USBケーブルの両端をUSBポートから抜いてください。3秒間パワーボタンを長押しして電源を切り、パワーモジュールが自動的に再起動するまでお待ちください。充電可能な状態に戻ったら、再度USBケーブルをさし込んでください。
上記の方法で問題が解決しない場合は、販売店、もしくは当社までお問い合わせください。

トラブル内容:パワーボタンを押してもファンが回転しない

原因1:充電池が充電されていない（ライトが点滅している）
（解決法）パワーモジュールをUSBコネクターでコンピュータ等に接続し、充電池を充電してください。
原因2:ライトが点滅していない。
（解決法）販売店、もしくは当社までご連絡ください。

より詳細なトラブルシューティングは、http://www.montbell.jpをご覧ください。

バイオライト キャンプストーブ

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。誤った使用の場合、使用者本人及び周囲の方々が死にいたる事故の原因となる恐れがあります。

本製品に内蔵されているリチウムイオン電池は、長期間充電せずに放置すると完全に放電して充電できなくなるおそれがあります。少なくとも6ヶ月に1度は充電してください。
※燃焼室にて燃焼することにより充電も可能ですが、USB経由の充電よりも時間を要します。

BioLite
Campstove

キャンプストーブの仕組み

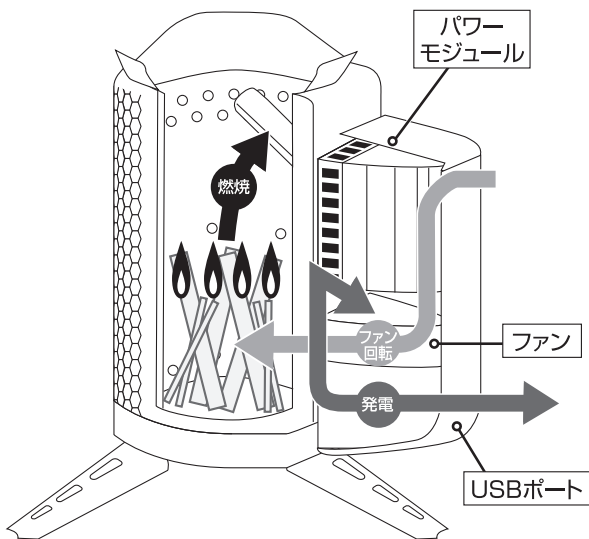
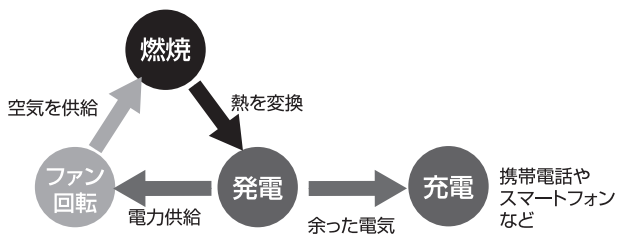
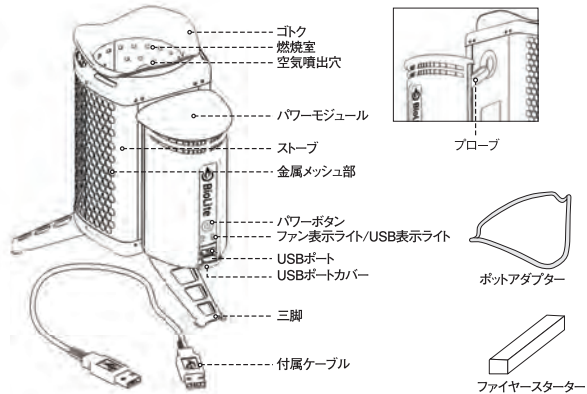
・たき火の熱を電力に変換

小枝や小さな薪などの燃料を燃焼室の中に入れて着火すると、その熱を利用してオレンジ色のパワーモジュール内に充電が開始されます。充電された電気を使ってファンが作動し、燃焼室の中に空気を送り込むことにより燃焼効率が向上し、たき火の火力が増します。火力を増したたき火から出た熱は再びパワーモジュールに伝わり、さらに強力なファンの稼働が可能になります。ファンを回すために十分な電力が蓄えられた後、余剰電力はUSBポートを通じて外部機器の充電にも利用することができます。

・燃焼効率の良いたき火を実現

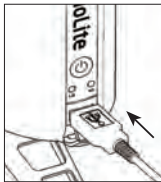
電気で動くファンを使用することにより、燃焼室内のたき火は燃焼効率が向上します。小枝や薪などの限られた燃料を、最大限の熱量に変換することが可能になります。

各部の名称

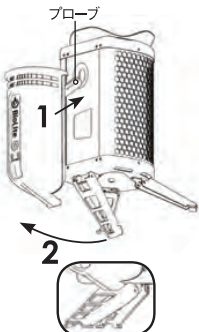
ゴトク
燃焼室
空気噴出穴
パワーモジュール
ストーブ
金属メッシュ部
パワーボタン
ファン表示ライト/USB表示ライト
USBポート
USBポートカバー
三脚
付属ケーブル
プローブ
ポットアダプター
ファイヤースターター

1.初めてご使用になる前に

本製品を初めてご使用になる前に、内蔵の充電池の充電方法をご確認ください。

本製品には簡単に使用開始できるよう充電池が内蔵されています。初めてご使用になる前に外部電源から充電池に充電してください。なお、自然放電するため、6ヶ月に一度は同様の手順で充電してください。

1. 両側にUSB端子がついた付属のケーブルを使用します。片方をパワーモジュールのUSBポートに接続し、もう片方をお手持ちのパソコンやUSB専用の充電器等に接続して充電してください。
2. 接続中は、パワーモジュールのUSB表示ライトがオレンジ色に灯ります。約6時間充電すれば使用可能になります。
   USB経由で充電できない場合は、燃焼室にて燃焼することにより充電も可能ですが、USB経由の充電よりも時間を要します。(充電時間は燃焼条件により変動します。)

2.セットアップと着火方法

⚠ **以下の「燃料」とは、木材や松かさ等を指しています。ガソリン等の液体の燃料や石炭等の燃料や炭、オガライトは絶対に使用しないでください。**

1. パワーモジュールのプローブをストーブ横側の穴にさし込んでください。プローブをきっちりさし込んでもパワーモジュールとストーブの間に若干の隙間ができますが、意図的に設計されておりますので使用には差し支えありません。
2. ストーブの底にある三脚を完全に開きます。脚の1つを開く際にパワーモジュールの凸部に引っ掛けて固定してください。
3. 鍋やフライパンを使用する場合は、付属のポットアダプターを燃焼室の上に設置してください。がたつかないよう、燃焼室のゴトク部分に確実にはめて固定してください。
4. 周りに可燃物がなく、水平で安定する場所にストーブを置いてください。周りに乾燥した芝などがある場合は、燃え移らないよう取り除いてください。また、万が一の場合に備え、近くに水を用意して、すぐに消火できるようにしてください。
5. ストーブの燃焼室の中に焚き付け用の乾燥した燃えやすい燃料(小枝など)を入れてください。※【使用する燃料と入れ方について】参照。
6. 燃料に上から点火してください。安全に点火するため、長いマッチや付属のファイヤースターターを使用してください。
7. 約10秒後にパワーボタンを押し、ファンを回転させてください。ファンは燃焼室に空気を送り込んで燃焼を促します。もしファンが途中で停止したら、再度パワーボタンを押してください。火が小さい段階でファンが高回転(HI)で回ると火を吹き消してしまう恐れがあるため、火が十分におこるまでは、ファンは高回転(HI)にならない仕様となっております。火が十分におこると、高回転(HI)に切り替えられるようになります。

使用する燃料と入れ方について

安定した燃焼の為に下記の「燃えやすい燃料」「焚き付け燃料」の上に小枝を燃焼室に収まるように折って、交差させるように入れてください。

燃えやすい燃料 乾いた小枝を削ったもの、バーチ(カバノキ)の樹皮

焚きつけ燃料 乾いた小枝

※乾燥した高密度の燃料は、高温で長く燃焼します。(ナラ、カシ、カエデ、モミ等)

⚠ **高温で最も効率よく燃焼させるには、燃焼室に入れる木の間に空気の通り道となるスペースを作り、燃焼室内側の空気噴出穴をふさがないようにしてください。また、全ての燃料が燃焼室内に収まるようにしてください。**

⚠ **可能な限り乾燥した燃料を使用してください。濡れたり湿ったりしている木や葉は使用しないでください。煙がたくさん出て不完全燃焼を起こします。**

⚠ **鎮火時からもう一度火を起こす際は、過度の煙を防ぐために小枝を使用してください。**

3.燃焼維持の方法

1. うまく着火したら大きめの乾燥した燃料を追加してください。この時点で、ファンのパワーボタンを高回転(HI)にしてください。これにより、空気がより多く燃焼室へ送り込まれます。
2. 燃焼が最適な状況になるよう、適宜ファンを低回転(LO)/高回転(HI)に切り替えながら燃焼させてください。ファン表示ライトは高回転(HI)のときはグリーン色に、低回転(LO)のときはオレンジ色に点灯します。ファンを使用すると燃焼室に空気を送り込み燃焼効率を上げることができますが、高回転(HI)設定は弱い炎を吹き消してしまうこともあります。そのため、点火するときや、残り火から再度燃焼させるときは、低回転(LO)に設定してください。火が大きくなったら高回転(HI)を使用し、とろ火にしたいときは低回転(LO)にしてください。
3. 最大限に燃焼している場合は、燃焼室の最上部まで燃料を入れることが可能です。

⚠ **ストーブの金属のメッシュ部は非常に高温になります。ストーブが高温のときや燃焼しているときは、絶対に持たないでください。消火後に余熱が残っているストーブを動かす際も必ずパワーモジュールをお持ちください。**

4.調理

1. 鍋はポットアダプターの上に置いてください。その際、鍋の持ち手に炎があたらないように注意してください。
2. 調理中はやけどに十分注意して鍋を移動させ、乾燥した燃料を追加してください。
3. とろ火にする場合は、燃料を追加せずに火を小さくしてください。また、パワーボタンを押してファンを低回転(LO)にしてください。

⚠ **燃料に点火する前に、あらかじめ燃焼室の上にポットアダプターを固定させてください。**

⚠ **耐荷重(容量3.7ℓ/重量3.6kg)を超えた調理器具を使用しないでください。**

⚠ **風向きとストーブの位置に十分注意してください。炎があたるとパワーモジュールが破損する恐れがありますので、炎があたらないように常にパワーモジュールを風上に向けてください。**

⚠ **鍋を動かす際や燃料を追加する時は、鍋や中身が熱くなっているため十分注意してください。**

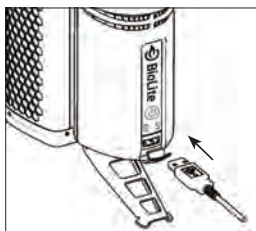
⚠ **鍋をストーブの上に置くと、鍋底から炎がはみ出してくることがあります。やけどをしないよう十分注意してください。**

⚠ **パワーモジュールを覆い隠すような大きい鍋、フライパン、鉄板、および油や水が下に滴り落ちるような金網などは使用しないでください。熱でモジュールが溶ける恐れがあります。**

07-239-1305

5.充電

1. 燃焼中にUSB表示ライトがグリーン色になると、充電可能です。充電ができないときは、USB表示ライトがオレンジ色になります。グリーンになるまでお待ちください。
2. USBポートに充電する機器のお持ちのUSBケーブルを接続してください。燃焼の強弱によって外部出力も変わります。出力を最大にするためには、燃料を十分に入れ、ファンを高回転(HI)にセットして燃焼させてください。機器によっては継続的に充電することもできますが、大きな電力を必要とするスマートフォン等の他の機器は、自動的に一定の間隔をおいて充電します。

※携帯電話・スマートフォンなどの充電用ケーブルは付属していませんので別途ご用意ください。

■**内蔵電池があらかじめ充電されている場合は、外部機器に充電できるようになるまで約5～10分かかります。内蔵電池が充電されていない場合、また燃焼状況や外気温によって充電できるようになるまでの時間は大きく変化する場合があります。**

■**約20分間の充電で約1時間の通話が可能です。**(iPhone4Sの場合)

■**バイオライト キャンプストーブは、USBで充電できる以下の機器を充電することが可能です。**
・携帯電話 ・スマートフォン ・MP3プレーヤー ・LEDフラッシュライト
・ヘッドランプ ・充電池など

■**燃焼や気温によって充電能力は変わります。**
※すべてのメーカーのUSB充電対応機器への充電を保証するものではありません。
※携帯電話やスマートフォンなどの電池残量が少ない場合は満充電にすることが出来ない可能性もあります。また、電池残量がない場合は充電できないことがあります。

⚠ **USBケーブルをパワーモジュールにさし込む、または引き抜くときには、やけどの恐れがありますので金属のメッシュ部の表面に触れないよう十分注意してください。また、充電中に電子機器に炎や火花、調理中の食べ物等が飛ばないよう、なるべく遠いところに置いてください。**

⚠ **火力が安定しない場合はランプが点灯したり、消えたりする症状があらわれることがあります。【3.燃焼維持の方法】をご参考の上安定した火力の維持をお願いします。**

6.消火方法

1. 灰になるまで燃料を全焼させ、冷ました灰を地面に掘った穴に入れてください。火がくすぶっている場合がありますので、必ず灰の上に水を注いで完全に消火してから土をかぶせてください。冷却のためにファンは回り続けます。
2. ストーブが冷却されると、ファンは自動的に停止します。手動で停止させるときは、3秒間パワーボタンを長押ししてください。

⚠ **ストーブの部品を保護するために、ストーブには、絶対に水をかけないでください。**

⚠ **灰を捨てる時は、水をかけて必ず完全に消火したことを確認してから土をかけて埋めてください。完全に消火されていないと引火して火事の原因となり、大変危険です。**

⚠ **手動でファンを停止させた後でも、ストーブが熱ければ再度ファンが回転することがあります。ストーブが冷却されるまでファンが回転することで、パワーモジュールの中の電気系統を保護します。**

7.収納方法

燃焼室が十分に冷却されているのを確認して、下記の手順でストーブを収納してください。

1. ポットアダプターを取り外します。
2. 三脚を折たたんで収納します。
3. パワーモジュールを取り外します。
4. パワーモジュールを燃焼室の中に収納します。